

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol.17 No.16 2015年8月31日

製品・サービス動向-国内

■ヤマハ：ユニファイドコミュニケーション スピーカーフォン「YVC-300」を発売、 「YVC-1000」の高品質な音声処理技術を搭載、 「PJP-20UR」の後継モデル

(8月25日)

ヤマハ株式会社 (<http://jp.yamaha.com/>) (静岡県浜松市) は、高音質ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン「YVC-300」を10月初旬から全国で販売開始する。



YVC-300 (ヤマハ)



YVC-300 使用イメージ (ヤマハ)

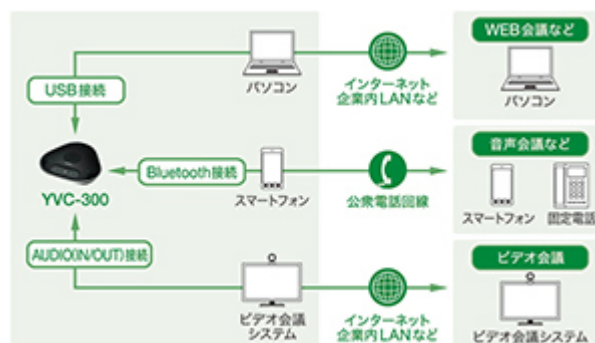
ヤマハは、2006年から遠隔会議システム市場に参入。音声会議システム「Projectphone シリーズ」などを販売してきており、マイクスピーカー市場ではシェア1位。

今回発売する YVC-300 は、4～6 名規模の会議室にて遠隔コミュニケーションを行うことを想定した「PJP-20UR」(2010年1月発売)の後継モデル。単一指向性のマイクを3本、フルレンジのスピーカーを搭載している。「YVC-1000」(2014年5月発売)と同等の高品質の音声処理技術を搭載し、USB バスパワーのスピーカーフォンの中では最大クラスの音量を出力可能となっている。

特徴としては以下の通り。

(1) YVC-300 には、適応型エコーキャンセラー、マイク自動追尾、オートゲインコントロール、ノイズリダクション、残響抑圧といったヤマハが長年培ってきた音声処理技術を搭載。マイクで収録した音から人間の声を高い精度で判定する技術 (Human Voice Activity Detection、HVAD) をさまざまな音声処理に組み込むことで、音声とノイズをしっかり仕訳して、話しやすく・聞きやすく・疲れない、音声コミュニケーションを実現する。

(2) USB バスパワーによる電源供給ながら、瞬間最大音量 91dB、再生周波数帯域 190～20000Hz を実現している。PJP-20UR と比べ聴感上 2 倍の大音量になった。



フレキシブルな接続が可能な YVC-300 (ヤマハ)

(3) PC ベースの Web 会議では USB 接続、スマートフォンからの電話回線を使った音声会議では Bluetooth 接続、ビデオ会議システムとは AUDIO 接続（オーディオ入出力端子）と、3つのインターフェイスを搭載しており、デバイスや会議システムの種類を問わず柔軟に接続することができる。

加えて、これら3種類のオーディオ入力ソースを同時に使用した場合は、オーディオミキサー機能により、異なるサービス間での相互通話が可能となっている。

(4) NFC を搭載しているため、NFC 対応のスマートフォンやタブレットなら、複雑な操作や設定をしなくても簡単に Bluetooth 接続を行うことができる。

(5) オプションの連結ケーブルを使用することで、もう1台の YVC-300 と連結することができる。これにより10名規模の会議にも対応可能となっている。



YVC-300 を2台連結し10名規模の会議にも対応（ヤマハ）

(6) 手軽に持ち運ぶことができ、PC と USB 接続するだけで利用できるため、設備のない部屋でもすぐに会議を開始できる。その際、周囲の環境に合わせて自動的に音響設定を最適化されている。

本体価格は、50,000 円（税抜、以下同）。AC アダプターは 4,800 円、連結ケーブルは 4,800 円。寸法は 235(W) X 46(H) X 226(D)mm、質量は 0.8kg。

なお、ヤマハは、ITProEXPO（9月30日～10月2日、東京ビックサイト）にて YVC-300 を出展する予定。

■VQS マーケティング：VQS コラボ V3x 交流 L タイプをリリース、最大 15 拠点の映像同時配信などに対応

（8月24日）

VQS マーケティング株式会社 (<http://www.vqs-m.co.jp/>)（京都府京都市）は、Web 会議システム「VQScollabo 交流 L タイプ クライアントソフト」を8月24日にリリースした。

今回発表されたクライアントソフトでは、最大 15 拠点の映像同時配信、同時会話、高解像度ディスプレイの表示に対応した。

従来の VQScollabo の交流タイプと比較しての変更点については以下の通り。

(1) これまで会議の議長を含め6拠点の同時発言・映像配信が最大であったのに対して、今回最大 15 拠点まで対応した。

(2) 映像配信枠については、2・4・6・9・12・15 枠または 1 枠拡大と表示パターンを変更できるようになった。これまでは 6 枠または 1 枠拡大表示であった。

(3) 議長設定について、これまで会議に対して固定であったが、会議中に自由に変更できるようになった。

(4) 会議の参加者以外の方が VQS コラボの操作を支援できるように、視聴席から議長操作を行えるようになった。

■ENWA：防災・BCP 対策に適したビデオ会議システム「EyeVision NEO(アイビジョン・ネオ)シリーズ」を発売

（5月21日）

ENWA 株式会社 (<http://www.enwa.tv/>)（大阪府大阪市）は、防災・BCP 対策に適したビデオ会議システム「EyeVision NEO(アイビジョン・ネオ)シリーズ」を

6月1日より販売開始した。

本製品は、防災・BCP 対策に特化したビデオ会議システム。防災 VPN 網あるいはインターネットを利用して、1対1の映像通信・1対多のライブ配信およびTV会議モードなど多彩な通信モードで、迅速な意思伝達を可能にするもの。

また、スマートフォン（Android、iOS）での参加やヘリテレなどの映像ソースの大規模配信も可能となっており、多くの情報端末や映像機器を活用できるようになっている。

さらに、従来の専用システムに比べても安価で自由度の高い設計になっている。



EyeVisionNEO の特徴 (ENWA)

遠隔医療でも利用できる高画質とともに、低遅延を強みとしてTV局での低遅延送り返しシステム/ライブ中継でも採用されている。また、デスクトップ共有機能のレスポンスの速さと画像クオリティは業界最高レベルと言われている。さらに、対象 PC の画面共有と遠隔操作を可能とする ENWA 独自のエージェント機能も用意している。セキュリティは全データ 256BitAES 暗号化に対応している。

ASP タイプとオンプレミス型を提供している。ASPタイプの料金について。テレビ会議機能については1IDが5,000円、ライブ配信機能が1ID3,000円となっている。そのほかオプションなどは要問合せ。一方、

オンプレミスについてはオープンプライスとなっている。

ENWA では、EyeVision を約 10 年販売しており、高画質・高音質・低遅延の特長により、これまで多くの企業をはじめ、医療・テレビ局・内閣府などの自治体へ導入されており高評価を得ているという。

昨年 9 月、兵庫県に EyeVision が採用され、兵庫県フェニックス防災システムの端末 (310 台) に導入され、テレビ会議 (20 拠点) のほか、ヘリコプターからのライブ映像によるストリーミング配信 (最大 100 拠点) など消防防災活動に活用されている。

ENWA としては、このプロジェクトで培ったノウハウをもとに多くの自治体や一般企業へも展開するため EyeVisionNEO として販売を開始した。

年間販売目標は 400 セット。今後、ASP 型においては、災害時に備えて 2015 年度秋頃サーバの二重化を計画している。

■ヒトメディア：会議用ロボット型 IoT デバイス「Kubi」を販売開始



Kubi (ヒトメディア)

株式会社ヒトメディア (<http://hitomedia.jp/>) (東京都港区) は、米国 Revolve Robotics 社 (米国・サンフランシスコ) に対し出資するとともに、Revolve Robotics

社の日本国内における輸入総代理店として、会議用ロボット型IoTタブレットスタンド「Kubi (クビ)」の販売を開始する。

Kubi は日本語の“首”を由来とする、左右に 300° 上下に 90° 自由自在に稼働するもっとも安価で手軽に利用できるロボット。手持ちのタブレットと Kubi をつなぎ、専用のアプリやサードパーティのテレビ電話アプリを使用することで、まるで通話先の相手が目の前にいるかのような感覚を思わせてくれる。

使用例としては、遠隔地とのビデオ会議から、バーチャル受付、カスタマーサービス、ジムトレーニング、アパレルなどの接客、セキュリティ監視、病院でのモニタリングやカウンセリングなどの用途、遠隔教育・個別指導、動物モニタリング、遠隔旅行など Kubi によってさまざまなビジネス活用が期待できるとしている。

ヒトメディアでは、本年度より Kubi を導入し、海外とのビデオ会議、遠隔地とのセミナーなどで積極活用し、日々ノウハウを蓄積している。それをもとに、Kubi の販売業務を行っていくとともに、今まで培ってきた教育と異文化領域に特化した開発技術を活かし、さまざまなソリューション開発を行っていく予定だ。

なお、この Kubi は、5 月に設立した株式会社ヒトトキインキュベーター（ヒトメディアと日本たばこ産業株式会社との合弁会社）の出資第一号案件となる。

ビジネス動向-国内

■アイボール・ネットワークス：新日本代表就任、NAS・IP カメラ・WebRTC・「Skype for Business」など今後の日本での展開を披露

(取材：8月18日)

ファイアーウォール/NAT 超えソリューションに強みを持つアイボール・ネットワークス社 (<http://www.eyeball.com/>)。本社はカナダ バンクー

バー。セールス・サポート拠点は、サンフランシスコ・ソウル・東京 (2013 年 12 月開設)、また、開発拠点はダッカ・シンガポールにある。社員数は 60 名。そのうちの 2/3 が R&D 要員で技術指向の強い会社だ。加えて、IoT 標準化団体のひとつである Open Interconnect Consortium のプラチナメンバーでもある。

この 5 月から、日本代表に鈴木 敦久 氏が就任、アイボール・ネットワークス社の概要や強み、日本での今後の展開などを伺った。

同社の事業は、どのようなネットワークやファイアーウォールを使っているかといった環境に関係なく、デバイス to デバイスの接続を保証する技術「AnyFireWall テクノロジー」を提供するところに軸足を置く。映像・音声などをインターネット上で P2P 通信を行う際に要となる技術だ。

AnyFireWall Engine と Server の特長

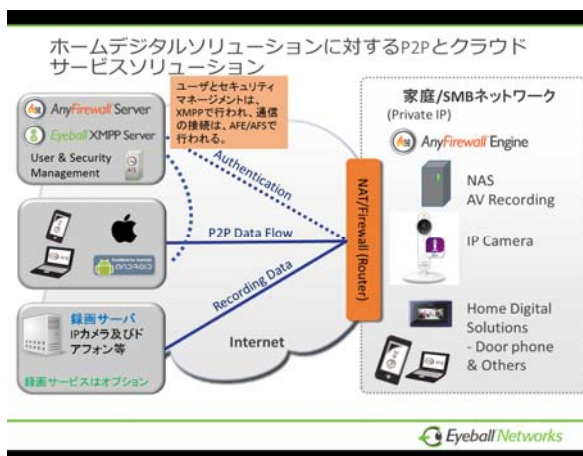
(アイボール・ネットワークス)

この AnyFireWall テクノロジーをベースにした具体的な提供製品は以下の通り。(1)「AnyFireWall Engine」: STUN/TURN/ICE ライブラリ。(2)「AnyFireWall Server」: STUN/TURN/ICE サーバソフトウェア。(3)「AnyConnect Gateway」: エンタープライズセッションボーダーコントローラ(E-SBC)。(4)

「Eyeball XMPP Server」：プレゼンス/IM/SMS サーバソフト。(5)「Messenger SDK」：VoIP ソフトフォン開発キット。WebRTC アプリケーション開発にも対応している。

これらの製品は、組み込みソフトウェアやサーバソフトウェアとして提供したり、あるいはクラウドサービスとしても提供している。

これまでの実績としては、ポリコム、Vidyo といったビデオ会議メーカを始め、IBM、インテル、ブラックベリーなど、アイボール・ネットワークス社のテクノロジーを採用している企業はワールドワイドに 200 社を超える。



クラウドサービスソリューション

(アイボール・ネットワークス)

日本での今後の展開について、鈴木氏は、ファイアーウォール/NAT 越えソリューション提供の面では、ネットワークアタッチトストレージ (NAS)、IP カメラ、インターフォンとスマートフォンとの連携、WebRTC 通信といった各領域に注力しつつ、Skype for Business に直接接続できる機器やソフトウェアを開発できる開発キット「MS-SIP」も広く展開していくとしている。

PR

>株式会社日立ハイテクノロジーズ

<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

セミナー・展示会情報

<国内>

■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス

「TeleOffice」体感セミナー

日時：9月9日(水)/9月16日(水) 14:00~16:00

会場：シャープ株式会社 東京支社(東京都港区)

主催：シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込：

<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-a.html>

■ポリコム&プリンストン ソリューションフォーラム 2015

日時：第1回目：9月2日(水) 14:00~17:00

(受付：13:30) ポリコム社ビデオ・プラットフォームソリューションの最新情報

第2回目：9月3日(木) 14:00~16:30 (受付：13:30)

ポリコム社ボイスソリューションの最新情報

会場：ポリコムジャパンセミナールーム(東京都新宿区)

主催：ポリコムジャパン株式会社、株式会社プリンストン

詳細・申込：

<http://www.princeton.co.jp/news/2015/08/201508041100.html>

■Adobe Connect ハンズオンセミナー

『簡単に始められる Web 会議やセミナーを体験』

日時：9月9日(水) 15:00~17:00 (開場 14:30)

会場：株式会社サムライズ セミナールーム(東京都品川区)

主催：株式会社サムライズ

詳細・申込：<http://www.samuraiz.co.jp/event/20150909.html>

■ワークスタイル変革 Day 2015

日時：9月15日（火）

-セミナー：9:30～17:50（受付：9:10～）

-デモ展示：10:30～18:30

会場：ソラシティカンファレンスセンター（東京都千代田区）

主催：株式会社リックテレコム

詳細・申込：<http://www.ric.co.jp/expo/wsd2015/index.html>**■ITPro EXPO 2015**

日時：9月30日（水）～10月2日（金）

会場：東京ビックサイト

主催：日経BP社

詳細・申込：<http://itpro.nikkeibp.co.jp/expo/2015/>国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

Webの方の情報もご参照ください。

人材募集-国内

遠隔会議関連企業での人材募集情報を掲載しています。

■Acano 社--ビデオ会議ソリューション

-セールスエグゼクティブ（日本）

http://acano.com/open_position/asia-pacific/sales-executive-japan/

-セールスエンジニア（日本）

http://acano.com/open_position/asia-pacific/sales-engineer-japan/**アーカイブ電子ブック版**

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2015年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>**<<編集後記>>**

8月15日号から、記事ごとに各社(プレスリリース発表企業もしくは取材先)へのリンクを設定しましたが、今号からリンクの表示方法を変更いたしました。また新たに人材募集情報も掲載いたします。

CNAレポート・ジャパン 2015年8月31日号おわりホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp